

令和2年10月30日

## 令和2年度モーダルシフト取組み優良事業者の受賞者を決定

～大賞はF-LINE株式会社（南関東支店 マルチモーダルサービスセンター）～

（一社）日本物流団体連合会（渡邊健二会長）は、10月16日（金）に「モーダルシフト優良事業者選定委員会（委員長：竹内健蔵 東京女子大学教授）」を開催し、「モーダルシフト取組み優良事業者公表・表彰制度」の受賞者を決定した。

モーダルシフト最優良事業者賞（大賞）には、F-LINE株式会社（南関東支店 マルチモーダルサービスセンター）による『食品の海上・鉄道輸送へのモーダルシフト』が選定された。3つの案件について、配送のリードタイムを伸ばすことで、トラックから海上・鉄道へのモーダルシフトを実現するとともに、輸送モードの「複々線化」により、自然災害時も柔軟に対応できる体制構築が高く評価された。

物流連では、平成15年より、モーダルシフトに積極的に取り組む物流事業者を会報等で公表してきたが、平成26年度より優良事業者の表彰を中心とする制度へ移行しており、表彰制度としては7回目の実施となる。

本制度の趣旨は、物流業界における環境負荷低減と労働生産性向上の観点から、大量輸送機関を利用した輸送の重要性が増している状況のもと、他の模範となる取組みを行っている物流事業者を表彰するとともに、その取組みを広く社会に紹介し、モーダルシフトを更に促進しようとするものである。

各応募案件は「モーダルシフト優良事業者選定委員会」にて審議の上、17件13社が優良事業者として選定された。

表彰式は、11月11日（水）14時30分より、学士会館にて開催される。

以上  
事務局 細野

# 令和 2 年度モーダルシフト取り組み優良事業者 公表・表彰の概要

## 1. モーダルシフト最優良事業者賞（大賞）

被表彰者：F-LINE（株） 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター  
功績事項：食品の海上・鉄道輸送へのモーダルシフト

F-LINE（株）南関東支店 マルチモーダルサービスセンターは、食品の輸送に関して、トラック輸送から海上・鉄道輸送へのモーダルシフトを3案件実現した。

転換にあたっては、リードタイムが一番のネックとなっていたが、メーカー各社と交渉し、トラック輸送と比較してリードタイムが1日伸びることを了承してもらえるよう働きかけ、輸送効率化に成功した。また、近年、自然災害が多発していることから、トラック・鉄道・船舶など、複数の輸送モードの併用（複々線化）の実現に取り組み、災害時にも柔軟に対応できる供給体制を構築しており、環境負荷低減や安定的な輸送の実現に対して範となる取り組みとなっている。

## 2. モーダルシフト取り組み優良事業者賞

### ① 実行部門（4件）

被表彰者：フェリックス物流（株）  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

被表彰者：三八五通運（株）  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

被表彰者：日本石油輸送（株）  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

被表彰者：センコー（株）

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

フェリックス物流（株）、三八五通運（株）、日本石油輸送（株）、センコー（株）は、幹線区間における貨物総輸送量のうち鉄道・海運の利用比率が40%超を達成した。

## ② 改善部門（3件）

被表彰者：住鋁物流（株）

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を1%以上上回る実績を達成

住鋁物流（株）は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、大量輸送機関である海運の割合を一層向上させた。平成30年度における実績が全輸送量中83.8%であったのに対し、令和元年度においては85.0%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

被表彰者：日本通運（株）

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を1%以上上回る実績を達成

日本通運（株）は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、大量輸送機関である鉄道・海運の割合を一層向上させた。平成30年度における実績が全輸送量中51.9%であったのに対し、令和元年度においては53.3%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

被表彰者：山九（株）

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を1%以上上回る実績を達成

山九（株）は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、大量輸送機関である鉄道・海運の割合を一層向上させた。平成30年度における実績が47.1%であったのに対し、令和元年度においては51.9%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

### ③ 有効活用部門（7件）

被表彰者：住鋳物流（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

住鋳物流（株）は、愛媛県から全国各地への電気ニッケル他の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

トラックドライバー不足を背景に、これまで不定期であった輸送を定期化するため、出荷スケジュールを営業部門と調整し安定的な輸送を実現した。トラック台数についても年間370台分削減効果があり、CO2排出量を削減したほか、トラックドライバーの負担を軽減した。

被表彰者：日本通運（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

日本通運（株）は、広島県から千葉県への鉄鋼製品の輸送について、トレーラー輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトにあたっては、トレーラーの改造や新規の転送架台作成に取り組み、海上モーダルシフトによってCO2排出量を削減したほか、ドライバーの運転時間についても、年間で2,000時間以上の削減に成功した。

被表彰者：（株）日立物流

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

（株）日立物流は、神奈川県から全国39拠点への食品（小麦粉、パスタ等）の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

12fコンテナで年間400本以上を継続的に輸送しており、本取り組みによってCO2排出量を削減したほか、ドライバーの運転時間は年間4,000時間以上の削減に成功し、トラックドライバーの負担軽減効果の大きな取組みとなっている。

また、一度に大量に輸入される在庫品を定期的に転送することにより、鉄道輸送量の安定供給を実現した。

被表彰者：王子物流（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

王子物流（株）は、愛知県から埼玉県、東京都への紙製品の輸送について、トラック輸送

から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトにあたっては、船内ばら積み輸送を実施し、本取り組みにより CO2 排出量を削減したほか、ドライバー運転時間は年間 5,000 時間程度削減することに成功した。

被表彰者：三八五通運（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

三八五通運（株）は、岩手県から兵庫県への化粧品原料水の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフト当初は液体専用 IBC コンテナやドラム缶で輸送していたが、2016 年よりフレキシタンクを利用した液体輸送方法の検証を繰り返し行い、積載効率の向上と荷役作業効率の改善に成功した。モーダルシフトによる CO2 排出量の削減効果に加えて、さらに積載効率向上分の CO2 排出量の削減効果およびドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：（株）バンテック

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

（株）バンテックは、神奈川県から福岡県への自動車部品の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトに際しては、荷量に合わせた船の利用や、船舶輸送拠点の両端に貨物を混載できる混載センターを設けて、一定の積載率未満の貨物に対しては混載輸送を提案するなど、CO2 排出量の削減と物流効率化を実現している。

被表彰者：センコー（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

センコー（株）は、関西地区から九州地区間の食品、樹脂、ソーラーパネル等の往復輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトに際しては、社内集配ネットワークで両地区の集約拠点（ハブ）に荷物を集約することにより、まとまった物量確保と安定した配送力を確保したほか、有事等の船便欠航に備えて、東広島（中間拠点）折り返しによる自社トレーラーのドッキング輸送体制を構築しており、安定的な幹線輸送体制を実現した。

ドライバー運転時間は年間 2,000 時間以上の削減効果を見込んでいる。

#### ④ 新規開拓部門（2件）

被表彰者：（株）日陸

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

（株）日陸は、山口県から茨城県への化学製品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

トラックドライバー不足を背景に、鉄道輸送へモーダルシフトすることにより、ドライバーは日帰り輸配送が可能となり、CO2 排出量の削減およびトラックドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：濃飛倉庫運輸（株）

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

濃飛倉庫運輸（株）は、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトについて、3 地域にて新規案件を実現した。

輸送品目はプラスチック成型品や化合織、特積み貨物など様々で、輸送区間は静岡県から北海道、愛知県から福岡県など多岐にわたり、多種多様なモーダルシフトを推進し、CO2 排出量の削減やトラックドライバーの負担軽減を実現した。

以上